

不安定な基盤の上のっている。しかし、これは現在の日本の主要工業地域から取り残された地方工業都市の宿命なのかもしれない。

旧利根川沿いの自然堤防と後背湿地の土地利用

蔭 山 美千代

(1) 目的

この論文は旧利根川沿いの自然堤防と後背湿地という異なる自然条件が、土地利用にどのように影響するかを、過去と現在に分けて考察することを目的とした。

(2) 枠組

〔第一章〕自然堤防と後背湿地の自然条件の相違を明らかにした。

〔第二章〕土地利用の歴史を概観した。

〔第三章〕現地調査により、現在の土地利用状況を調べ、かつ自然堤防における陸田・後背湿地における宅地という自然条件に反する土地利用が生まれた理由を探った。

〔第四章〕この地域の地形を形成した洪水の流下経路を推定し、過去と現在の洪水防御方法を比較しつつ、最近の土地利用と洪水との関係を考察した。

(3) 要約

旧利根川沿いはかつて頻繁に起きた洪水によって地形が形成された。この自然堤防と後背湿地という2つの地形は農業にとっては自然条件が異なる。中でも土地利用に影響したのは、その高度差と見ることができる。

①戦前まではこのわずか1～2mの高度差によって、自然堤防は宅地と畑、後背湿地は水田という具合に地形に従った土地利用がなされていた。

②ところが戦後の土地利用では、地形の差は必ずしも障害とならなくなっており、以下のような土地利用の例が見られる。

- この地域の上流部の旧利根川流路である会の川沿いの自然堤防には陸田が広がっている。これは、
- ・終戦後、食糧不足のため米価が高騰した。
- ・農地解放により用水管理権が小作の手に移った。
- ・揚水機を安価に利用できるようになった。
- ・昭和30年代後半から支持価格により米作が有利になった。

などの人文的諸条件があり、また農家にも積極的に農業を営む意欲があったので、陸田が発生したと見られる。

ところが、減反が推進される状況下にあっても、容易に畑作にもどそうとしないのは、この意欲が低下したためと思われる。すなわち、都市化の影響により、農業以外に収入の道をもつ農家がふえ、むしろ農業による収入よりも大きくなってきたので、農業経営の方は機械を使用でき、労力のかからない陸田にしておく農家が多いのである。

○また、久喜市青葉は地形的に後背湿地であるにもかかわらず、盛土までして住宅地が形成された。これは、

- ・葛蒲町に工業団地造成計画があり、従業員の住宅を用意する必要があった。
- ・久喜は東北本線と東武伊勢崎線との結節地点で、交通の便がよい。
- ・現在の青葉に当たる元の水田地帯は面積が広く、地価も安かった。

などの点を日本住宅公団が評価したためと聞いている。

しかし、この住宅地建設の場合、都市化の圧力を受ける農家の側も、すでに兼業化が進み、営農意欲が薄れていたことも見のがせない。

以上のように戦後現れた新しい土地利用は都市化の影響によるものと見られるが、このような土地利用は逆に自然条件に作用し、洪水の危険性を増している。

浦安町の生活基盤の変化と都市化

加藤 郁子

浦安は、古くは寂しい漁村であったが、江戸期に入ると、漁業及び街道集落として栄えるようになった。これは、浦安が海と川に囲まれており、水運が盛んであったためで、これによって、江戸と密接なつながりを保っていた。

ところが、明治の中期に入ると、千葉県にも次々と鉄道が敷かれ、水運は次第に衰えていった。これと共に、鉄道路線から外れていた浦安は、周囲の発展から取り残され、いわゆる“陸の孤島”になってしまった。こうして、昭和30年代に入るまで、人口の伸びもほとんどない、閉鎖的な漁村としての性格を形作っていったのである。

この間の浦安は、全く漁業だけの町だったといえるであろう。採貝業、海苔養殖業、そして網漁業と、地先海面をフルに利用していた。そして、陸上では貝むき加工業を始めとする様々な水産加工業と行商が盛んに行なわれており、町民の殆どが漁業に係わりを持つ生活をしていたのである。

しかし、昭和30年代に入ると、町の様子も変わってきた。それは、東京都内から、工場が移転してきたことと、汚染によって漁業がふるわなくなってきたことによる。つまり、陸の孤島と言われた浦安にも、都市化の影響が及んできたのである。こうして、長い間、浦安の基幹産業として栄えてきた漁業も、昭和37年には漁業権の一部が、同46年にはその全面が放棄され、800年の伝統と歴史に終止符がうたれた。

この漁業権の放棄と併行して、浦安の海面地先の埋立事業が進められた。この事業が完成することによって、町域は従来の約4倍になり、広大な住宅地区と、工業地区及びレジャー地区ができることになっている。

また、昭和44年3月に、地下鉄東西線が開通したことにより、東京の都心と短時間で結ばれることになった。このため、駅の付近にはアパートが立ち並び、旧市街地の周辺部と埋立地区は、東京のべ